

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	堀 建治	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)	
本授業では前期の専門演習Ⅰでの成果を踏まえて、「保育」や「幼児教育」について理解を深める。理論面では文献輪読や調査報告を通して理解をさらに深め、実践面では保育教材の意義を指導法を考える。	

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。ディスカッションおよびグループワークを取り入れ、文献の輪読や保育教材の作成等、研究する。また他ゼミとの交流から自身の方向性について理解を深める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション (授業説明、注意事項)	<input type="checkbox"/>
第2回	保育教材の研究 (題材の設定)	興味のある造形教材に関連した研究題材の設定を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	保育教材の研究 (作成)	取り上げた保育教材について作成する。	<input type="checkbox"/>
第4回	保育教材の研究 (仕上げ)	取り上げた保育教材を仕上げる。	<input type="checkbox"/>
第5回	保育教材の研究 (指導法)	保育教材の演じ方について調べる。	<input type="checkbox"/>
第6回	保育教材の発表	保育教材を発表する。	<input type="checkbox"/>
第7回	発表のまとめ	発表した教材について、議論する。	<input type="checkbox"/>
第8回	保育教材の実践 (計画)	保育現場での実践に向けての計画を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	保育教材の実践 (計画の確認)	保育現場での実践に向けての計画を確認、検討を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	保育現場における実践研究 1	保育現場にでかけ、各自が作成した保育教材を実践する。	<input type="checkbox"/>
第11回	保育現場における実践研究 2	保育現場にでかけ、各自が作成した保育教材を実践する。	<input type="checkbox"/>
第12回	保育実践の振り返り (個人)	実践研究での振り返りを行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	保育実践の振り返り (グループディスカッション)	実践研究での振り返りをグループディスカッションする。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究発表	これまでの研究の成果を発表し、質疑応答に答える。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	研究発表の成果を踏まえ反省点や良かった点を話し合いレポートにまとめる。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習 (予習・復習) の内容(Preparation/review details)	
これまでの調査・研究の成果をレポートもしくは制作物で示せるように準備する。(2時間) 授業内での気づきや課題を調べる。(2時間)	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)	
成果報告他、レポート課題を実施する。内容を確認後、より研究を深められるような助言や各種資料を提供する。	

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	幼稚園教員・保育士になるための表現力、知識、能力を身につけ創造的に指導できる。

思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	調査、実践研究を通して探究心と知識、表現力を身につけ、主体的に課題に取り組むことができる。
主体性	◆ 2019子ども発達DP3	現代の保育、幼児教育における様々な課題にこれまでの知識や経験を活かし改善できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「授業内試験」：授業内で扱ったテーマについて、保育教材の作成や自分の考えをまとめた小文作成もしくは口頭にて確認を実施する。  
「その他」：提示された各種課題の提出状況や授業での貢献度を含めて評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で、必要に応じて紹介	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で、必要に応じて紹介	
2		
3		
4		
5		